

県民のための県政を 副知事再任について思う

藤岡・太田榮市

最近の報道によると、吉村美栄子知事提出の若松正俊副知事選任の案件について、自民党県議団が反対していることが報道されている。

そのため県議会2月定例会の24日、吉村知事は人事案を撤回した。

自民党県議団の反対の理由は、各市町村の連携が取れていない、その根源は現副知事の存在が大きいからとのことである。

その理由で副知事再任に同意しないとすれば、県民の一人として納得がいかない。

先の1月執行の県知事選挙において、余りにも大きなと言えらる圧倒的な得票差で勝利されたことを思い起こしていただきたい。

具体的な案件ならともかく、吉村知事の「分身の立場」の案件に反対とは、県民に対して説

明でできるのだろうか。

県内の経済団体の代表

が、自民党県議団に撤回の要請を行ったことが報道され、なるほどと少し安堵した。

早々とよくぞお揃いで行動されたことを、県民の一人として評価したい。

ただ、これらによって副知事案件が好転するとは考えにくい。

願わくば、県内経済団体はもろろん、各種団体等が引き続き活動していただき、加えて県民一人ひとりが事の重大さを認識して、声を出して行動することが必要と思う。

その結果、再任が可決されることを切望する一人である。

鈴木重雄さんが小冊子を発行

民報連載「老いて生きがい」

鈴木重雄さんが民報連載の「老いて生きがい」を小冊子にしました。

校正製本は東田川文化記念館職員が担当。A5版18ページです。

時代と農村の風景、人々の暮らしがよみがえります。

お問い合わせは民報事務局へ

携帯090・8929・4221

平形分教場 4

加藤貞雄(山王町)

アメリカの占領軍が鶴岡にもやってきた。市内にあった東北電力の建物に本部を置き、星条旗を高く掲げていた。

■白山神社（通称 白山さま）

平形分教場から北300mほどの所に、多くの松や杉の木に覆われてこもりとした大きな森があった。あった、と言うのは戦後の土地交換分合で神社を含めた森全部が水田に化してしまつたからである。(なんと惜しいことか。)

その森の中には広さ8畳ほどの沼があり、雑木に囲まれて神秘的な雰囲気を感じさせていた。(子どもの頃その神社の前の相撲場で相撲を取つたりしてよく遊んだ。)

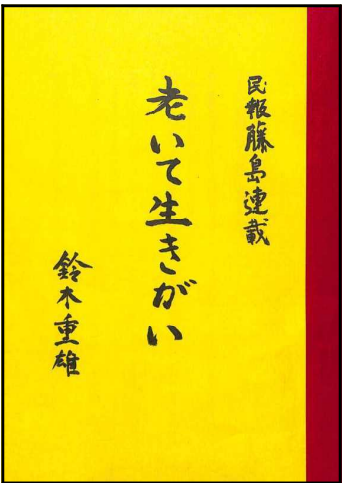
その頃、古郡(ふるごおり) 神楽と呼ばれた古郡集落からやってくる神楽の舞があつて、その神楽の頭(かしら)がこの白山さまの沼で育つた立木で作られたものだと言えられていた。その神楽が村中一軒々の庭で舞い回り、舞い終えると、産土(うぶすな)に帰る喜びを現すかのよう

に、いとも軽々しく白山さまへ向かつて走つて行く光景は今も脳裏に残っている。(つづく)

北側のガラス窓からみえる風景は昔とは大きく変わっていて、白山神社の森は姿を消して一帯が水田と化している。分教場から神社に伸びていた小道さえもない。当然といえば当然、あの頃(分教場時代)からもう80余年も経っているのだ。



(古郡神楽)



民報藤島連載

老いて生きがい

鈴木重雄

山旅メモ

北海道・大雪山―トムラウシ 縦走③

「カムイミシタラ(＝神々の遊ぶ庭)」を歩く
ROUSAN 鶴岡会員 梅本幸巳

縦走3日目(最終日) は、いよいよトムラウシ山に向かうクライマックス。

歩行距離は、16・24kmと2日目とおなじくらいだが、トムラウシ山(2141m)からトムラウシ温泉(645m)まで1500mの大下り。

■ヒサゴ沼

化雲岳から1時間ほど下ると、ヒサゴ沼に着いた。

2階建ての避難小屋の真ん前に静かに湖面が広がっていた。

小屋に入ると、3パーティが入っていた。夜は寒く、防寒着のまま長い縦走で疲れた体を横たえ深い眠りについた。

翌朝、早く小屋を出てトムラウシ山に向かった。

■ナキウサギ

そこを過ぎるとガレ場になっており、「チツ、チツ」と方々から鳴き声が聞こえる。「ナキウサギだー!」

ナキウサギは、氷河期の生残りである。

ハムスターより1回り大きく、しきりに岩の隙間から出てきて4、5m離れた所で頻り(しきりに)愛らしく鳴く。

冬眠しないため、枯れ葉・草等食料をしきりに貯め込み秋は特に忙しい。

ナキウサギは非常に

冷たい環境に生きる可憐な動物なのだ。

■日本庭園



天沼を過ぎると日本庭園にやってきた。

岩石が庭石みたいに配置され、所々ハイ松になっている。

緩やかな丘を登ると目の前には、トムラウシ山と北沼がひろがっていた。

■トムラウシ山
ごろごろした巨岩を登り頂上に着いた。



頂上からは、大雪山系をはじめ十勝岳まで360度の大展望。

少し下ると分岐があり、十勝岳・オプタシケ山への縦走路と分かれる。

ヒサゴ沼小屋で一緒だった男性は、十勝岳オプタシケ山縦走路へ向かった。

トムラウシ公園、前トム平からコマドリ沢分岐に下りカムイ天上目指して歩く。

ところが、泥田状態で苦労しながら登山道の端を歩いた。

カムイ天上から気持ちよく紅葉のアーチをくぐり、トムラウシ温泉にやっと着いた。

世界の国々

ASEAN(アセアン)

紛争は話し合いで 絶対に武器は使わない
青山 崇



東南アジア諸国連合(ASEAN)は、1

967年バンコクで、

1、カンボジアが加盟し、2014年現在10か国加盟となった。

「しんぶん赤旗」は、ASEANのミャンマー

1紛争の対応として、ミャンマー軍政「外相」とルトノ・インドネシア外相の24日会談を報じている。

ルトノ外相はASEAN憲章を尊重し、民主化復帰の道を具体的に示し、国軍は武力弾圧しないことなどを強く要請したという。

ASEANは1976年、東南アジア友好協力条約を締結し、紛



政治の乱れが

あれは女性蔑視だ。

五輪憲章と合わないで大騒ぎした五輪委員長の人選。結局は、逃げることの出来ない人に押しつけられた感じを持つが、ご苦労さん・頑張ってくれ・だ。

▲色々・複雑な状況が心配される下での、男だつて腰が引けるところ、ナンテ言うて今はアウトになるんだつたが、勇気のある引き受けだと思つたから。

▲自分だけで決めるわけではないんだが、開催の中止だつてあり得るし、一ヶ月後には聖火リレーが始められるのかの心配があるなかで、国会では一食7万円を超す食事で大騒ぎときている。どうかしていますナ、日本。

▲これは、あの7年8ヶ月の乱れが、こうした状況に。どんなに国民の反対があつても、

争に武力行使しないことを条約で一層強固なものにし、域内の国々の会議を年1000回もやっているという。

域外にも呼びかけ、加入は加盟国全ての同意が必要であるが、2012年現在28カ国が加入し、中国、ロシア、アメリカの「大国」も加入している。

その原則のもとに進むことが期待される。なお核禁条約批准国は6か国で、アジア・アフリカで一番の地域である。

最後は強行採決してきたし、「自分がよければ」をやってきたではないですか。その最たるものが、昭恵 という人の位置づけと思つて

いる。時には私人で、時にはそれなりの役職の女性を付けていた。その彼女は今何処にいるんだろうか。国会に呼べないように外国にやつたんだつたけなく。

▲それが、国民に自粛を求めながらも首相自らが団体ですき焼きを食うという流れに。それを何回か真似した者達は、誰に謝つたんだか、頭を下げて党籍離脱でチョンだもんネ。

▲あの首相、自分に任命責任があると言つただけで、責任をとつたところが無かつたし、何の処分もしなかつたんだ。最後は、病氣だと言いつて逃げだしたし。

▲和牛などを喰つて7万円超になるか? ツルかコウノトリの丸焼きは・ネ?か。(石川)